

# 図書館だより No.17

発行：豊富町図書館（ふらっと★きた情報交流コーナー）／平成28年7月28日  
 お問い合わせ：豊富町教育委員会 社会教育係 TEL：82-1355 ふらっと★きた TEL：82-2211  
 パソコン・スマートフォンで検索 → ホームページ変更につき下の記事を参考にしてください。

## ～宮沢賢治の世界～

今年の図書まつりは、『朗読とカンテレで親しむ宮沢賢治の世界』を開催します。それに併せ、図書館では宮沢賢治特集を行います。

この機会に、宮沢賢治の世界に触れてみてください。そして、読書とは一味もふた味も違う『朗読とカンテレで親しむ宮沢賢治の世界』も聞きにいらしてください。



※一部入荷予定の本もあります。

## 図書館の利用について

開館・返却時間：9:00から21:00まで(日曜日は18:00)  
 貸出し・その他：10:00から20:00まで(日曜日は18:00)  
 貸出冊数：お一人様10冊まで  
 返却期限：2週間(延長可能です)  
 日曜日は定住支援センター閉館時間が18時までになり、それともない、図書館の貸出窓口利用時間も18時までとなります。ご了承ください。

## 図書まつり

### 告知

例年8月に行っていました図書まつりは10月に行います。

\* 日程：10月1日(土)

\* 内容：①朗読会

『朗読とカンテレで親しむ宮沢賢治の世界』

②おはなしくれよんお話し会

③古本市

他にもいろいろ計画しています。お楽しみに！！

### 朗読してくださる村井裕子さんからのメッセージです！

宮沢賢治という人は、みんなの「ほんとうのさいわい」とは何かを求め、人のために何が出来るかを考え続けた人でした。

朗読会は、その思いや信念を私たちはどう受け継いだらいいかというテーマで構成しています。

物語や詩、童話だけでなく、その「伝えたい思い」=メッセージを受け取っていただくため、賢治がどんな人だったのかなどのお話も織り交ぜています。

美しいカンテレの響きとともに、心地よい時間をお過ごしください。



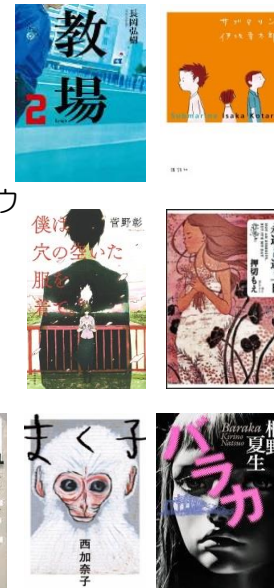
『古本市』の本を集めています。

読まなくなった本がありましたらお譲りください。

## 話題の新刊

### 小説

- ☆ 教場2/長岡弘樹  
大ヒット警察学校小説、待望の続編!
- ☆ サブマリン/伊坂幸太郎  
『チルドレン』から、12年。
- ☆ ままならないから私とあなた/朝井リョウ
- ☆ 僕は穴の空いた服を着て。/菅野彰
- ☆ 真実の10メートル手前/米澤穂信
- ☆ 永遠とは違う一日/押切もえ
- ☆ 眩(くらら)/朝井まかて
- ☆ ガンルージュ/月村了衛
- ☆ 向田理髪店/奥田英朗
- ☆ まく子/西加奈子
- ☆ バラカ/桐野夏生



### 生活

- ☆ モンスターマザー:「いじめ自殺事件」教師たちの闘い
- ☆ 子どもが伸びる! 自信とやる気が育つ! アドラー式
- ☆ 実はそんなに怖くない! ラクラク年金生活入門
- ☆ 結局、「すぐやる人」がすべてを手に入れる
- ☆ 名作うしろ読み プレミアム/斎藤美奈子
- ☆ NASAより宇宙に近い町工場/植松努
- ☆ 「暮しの手帖」とわたし/大橋鎮子
- ☆ つくおき 週末まとめて作り置きレシピ
- ☆ るるぶ北海道新幹線で行こう!



### 絵本・児童書

- ☆ アンパンマンのミニかたぬきえほん
- ☆ じったんのオムライス/大久保美行
- ☆ 映画ノバライズ オオカミ少女と黒王子
- ☆ かいけつゾロリのでんごくとしごく (31)
- ☆ 新幹線のたび~はやぶさ・のぞみ・さくらで日本縦断~特大日本地図付



## ふら☆オシ本

『タスキメシ』 著//額賀澤

毎年お正月の風物詩となっている箱根駅伝。選手たちの努力と青春の日々を思っ胸を熱くする人は多いのではないのでしょうか？ この本は、そんな箱根駅伝を目指しながらも、怪我をして競技に復帰することが難しくなってしまった兄と、そんな兄の復帰を待ち望む弟たちやライバル、たまたま出会った兄に料理の作り方を教える料理部の女子など、一人の選手とそれを取り巻く幾人もの人々の心情が書かれています。

競技を続けるか辞めるかの苦悩の中、最後に兄が選んだ道とは

.....

兄が悩みながら作る料理もとても美味しそうだったので、駅伝をあまり見ない人にもおすすめ。最後にはきっと胸が熱くなることでしょう。



『鍵のかかった男』 著//有栖川 有栖

大阪中之島のホテルで、身寄りのない老人が亡くなった。はじめは自殺で処理されていたが、ホテルのオーナー夫妻をはじめ、老人に関わった人たちが、「自殺をする理由が見つからない」として作家アリスに調査の依頼が来る。果たして老人は自殺なのか？ 他殺なのか？ だとしたらいったい誰が犯人なのか？ 読んでいる途中、アガサ・クリスティの「オリエント急行の殺人」のような展開なのかなと思ったりしましたが...

ベールに包まれていた老人の過去や秘密が読み進めていくうちに明かされて行き、意外なラストに驚くこと間違いなし！！

人気ドラマ「火村英生の推理」でおなじみの作家アリスが大活躍です。